Kait e-letter

Vol. 2
No. 3
2017.1.16

Electrical and Electronic Engineering, Kanagawa Institute of Technology

年も明け，大学１年生も大分生活に慣れてきたようです。２年生や３年生は，勉学，スポーツ，アルバイトなど、自分なりに考え取り組んでいるようです。４年生や大学院生は，卒論・修論発表や学会発表に向け，研究に勤しんでいます。今回は，前回に続いて，「留学生インタビュー」を紹介します。夏休み以降は，学会活動が盛んになる時期でもあり，学生達の活躍も紹介します。また，11月に開催された「マイコン回路デザインコンテスト」の概要についても，載せましたのでお楽しみください。

留学生インタビュー

ムハンマド　アディブさん（マレーシア）マレーシアで電気電子情報工学を学び，アジアで一番技術力の高い日本で，勉強したいと思い留学しました。電気電子ユニット入門という科目では，ホームページの作り方を学びました。日本人とのコミュニケーションは，まだ少し難しいときがありますが，授業は楽しく，チームワークと発表のスキルを学ぶこともできました。電気の勉強は大変ですが，とてもおもしろいと思っています。これからも，頑張って勉強していきます。

マストウラ　ビンティさん（マレーシア）技術力の高い日本で，大好きな電気電子工学を学べると決まったとき，とてもうれしかったです。日本の大学の授業は，どのようなものなのか，受講する前はとてもワクワクしました。電気回路，発表の方法など毎日新しい知識が勉強でき，とても楽しく，満足しています。これから，まだまだ沢山のことにチャレンジし，日本での勉強を頑張っていきたいです。

湯　子豪さん（中国）日本の大学の印象が良く、日本人も親切なので、興味のあった電気電子情報工学に入学しました。最初は、知り合いがいないので不安でしたが、先生が親切で、日本人の学生と話しもできるようになり、今ではとてもよかったと思っています。大学の授業では、日本人の学生と一緒に実験などをして、問題を解決する力を磨けていると思います。あと約３年、しっかり勉強していきたいです。

マイコン回路デザインコンテスト エキスパート部門　開催

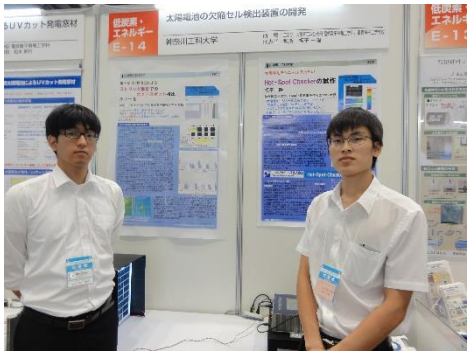
2016年11月19日に，本学科主催のマイコン回路デザインコンテスト　エキスパート部門が開催されました．神奈川，栃木，山梨，埼玉，東京から多くの高校生が参加してくれました．見事金賞に輝いたのは，山梨県立都留興譲館高等学校の「弓道表示」でした．銀賞は栃木県立宇都宮白楊高等学校の「シューティングゲーム」，銅賞は埼玉県立越谷総合技術高等学校の「７セグLED時計」でした．来年も多くの高校生の参加をお待ちしています

神奈川工科大学
KANAGAWA INSTITUTE OF TECHNOLOGY
ホームページ：http://www.kait-ele.jp
発行：神奈川工科大学 工学部 電気電子情報工学科
カイト・イーレター編集委員会

神奈川工科大学
電気電子情報工学科

@kait_ele2014

「イノベーション・ジャパン2016」で発表。



8月25日(木)～26日(金)「東京ビックサイト」にて、国内最大規模の産学マッチングイベントである「イノベーション・ジャパン2016」～大学見本市＆ビジネスマッチング～［主催：独立行政法人科学技術振興機構(JST)、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)］が開催され、本学科の大学院生の王亜東さんと学部生の望月優作さんが，「太陽電池の欠陥セル検出装置の開発」について発表しました。

公的研究機関、関連企業の研究者など多数の来場者があり、研究成果の応用に関する質問及びアドバイス、事業化に関する期待等積極的な意見が多数出され、有意義なものとなりました。

EAC2016で研究成果を発表

9月にフランス・トゥールで開催されたEuropean Aerosol Conference 2016にて、大学院生1名と4年生2名が研究成果を発表しました。

4年生の南條さんは、「はじめて海外での学会発表に参加してみて、最も感じたことは英語での対話力、語彙力の無さです。学会用ポスターの作成を通じて、英文を書くこと、発言することは、少しは身に付けることができたと思っています。しかし、それだけでは、相手に伝えるといった点ではまだまだ力不足だと痛感しました。学生生活はまだ半分残されているので、今回見つけた反省を今後改善していけるよう学習に励みたいと思います。いい経験になりました。」と語っていました。

また，同じ4年生の大井さんは，「初の海外発表に参加して、最も感じたのは英語でのコミュニケーションの難しさです。日本で練習を何度も繰り返していたため、発表はできたと思います。相手の質問も少しは理解でき、返答することもできました。しかし、すべて理解できる訳ではなく、聞き取れず何度も聞き返すなどしてしまい、焦ってしまいました。先輩に通訳してもらい、なんとか質問に答えることが出来ましたが、英語で相手に伝える難しさを痛感しました。社会人になれば英語は必須だと思うので、それまでに勉強し、自分の考えを相手に伝えられるよう努力したいと思いました。」と感想を述べていました。

第４０回静電気学会全国大会で，大学院生がＨＲＳＢ賞を受賞しました。

大学院工学研究科電気電子工学専攻博士前期課程2年の秋山佳祐さんが、第40回静電気学会全国大会においてＨＲＳＢ賞を受賞しました。

■受賞した研究題目

ＥＨＤ現象の電圧極性効果

■研究概要

液体は電界下で流動することが知られており、ＥＨＤ現象と呼ばれている。今回の発表は電圧の極性によって液体の形態が変化することを明らかにしました。

受賞した秋山佳祐さんは、「学会においてＨＲＳＢ賞を受賞でき、とても嬉しく思います。論文を評価していただけたことはとても励みになり、この現象を解明するためより精進していきたいと思います。熱心に指導していただいている下川博文教授にこの場を借りてお礼申し上げます。」と感想を述べました。

下川教授は、「今回受賞したＨＲＳＢ賞は、若手研究者の優れた発表に対して贈られるものです。秋山君の研究はＥＨＤ現象に新しい局面を開くものです。」と述べました。

学生による最近の学会発表等

（期間：2016.10.1～2016.12.31）

1. 深谷，第86回（平成28年）マリンエンジニアリング学術講演会
2. 南條，第86回（平成28年）マリンエンジニアリング学術講演会
3. 須藤，第86回（平成28年）マリンエンジニアリング学術講演会
4. 中田，第86回（平成28年）マリンエンジニアリング学術講演会
5. Miura, International Journal of Plasma Environmental Science &Technology, Vol. 10, No.2, 2016
6. Bakhsh Hossam, Proceedings of The 2nd IEEE Annual Southern Power Electronics Conference
7. Yadong Wang, Proceedings of IEEE 2016 International Conference on Power and Renewable Energy
8. Masataka Ochiai, Naoaki Iiduka, Bakhsh Hossam, Proceedings of IEEE 2016 International Conference on Power and Renewable Energy
9. 落合，遠山，"楽器フェア2016"に出展
10. 稲森，榊原，電子情報通信学会　光エレクトロニクス研究会（OPE）
11. 杉山，伊藤，Scenargie Workshop 2016